

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35615
事業名	再生材生産管理費					
評価担当課	所属名	建)土木部 道路維持課				
	課長名	石川 英俊	担当者名	中谷 裕二	電話番号	011-211-2632
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	道路工事等に伴い発生する、アスファルト塊及び建設発生土の廃棄物量の抑制、および不法投棄を防止する。			
		長期	アスファルト塊や建設発生土を有効活用することで環境負荷を低減させる。			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が発注する道路工事等から発生したアスファルト塊を、3プラントある再生処理施設に搬入し、再生アスファルト混合物(再生材混入率100%)を生産する。 ・本市が発注する道路工事等から発生した建設発生土を、中沼の再生処理施設に搬入し、再生砕石・再生砂・再生土を生産する。 				
	実施結果	安定的で継続的なアスファルト塊や建設発生土のリサイクルをすることで、資源の有効活用を行った。 再生アスファルト混合物の出荷量:142,858t 再生路盤材の出荷量:12,120m ³				
事業実施における工夫点	再生材の更なる利用促進を図る。					
対象者	市民	開始	昭和54年度	終了	令和4年度	
関連法令・条例・要綱等	再生資源利用促進法					
他都市の状況	他都市で同様の事例は確認できていない。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	1,555,398	1,523,413	1,592,844	1,242,177	
うち特定財源	1,555,398	1,523,413	1,403,593	1,225,745	
人工	0.6	1.2	1.2	1.2	
人件費	4,320	8,640	8,640	8,640	
計(事業費+人件費)	1,559,718	1,532,053	1,601,484	1,250,817	
事業費の内訳	令和3年度決算	再生材生産にかかる委託費:1,592,844千円			
	令和4年度予算	再生材生産にかかる委託費:1,172,177千円 その他:70,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	再生アスファルト混合物の生産量			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	163,593t	185,328t	142,858t	125,100t	
活動指標2	指標名	再生路盤材の販売量			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	34,108m3	17,000m3	12,120m3	0m3	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	道路工事などに伴い発生するアスファルト塊及び建設発生土を再利用することで廃棄物量の抑制及び不法投棄の防止が図られ、環境負荷の低減に寄与できた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	再生事業終了に向けた中で、受け入れ可能な範囲において再生材料を受け入れているため適当である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	再生材の生産業務などを専門性のある業者に委託しており、実施主体は適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	再生事業の民営化に向けて受け入れ量などは減少しているが、環境負荷の低減に寄与できている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	再生事業の民営化に向けて関係機関との事業量の調整。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	本業務の執行により、アスファルト塊や建設発生土の有効活用を行うことで環境負荷の低減に寄与できたと考えるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ○ 現状維持 ● 休止・廃止 再生事業の民営化による、事業の廃止。			
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● その他 再生事業の民営化による、事業の廃止。		見直し効果額	0 千円